

平成30年度

学校だより

* 2月 *



平成31年 1月31日 2月号 (第517号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

さこやかスマイル さすんで考え行動し きょうかし合う すずきっ子

「〇〇〇な鬼、鬼は外！」

校長 三橋 国雄

時の流れはとても速く感じます。新年のあいさつで始まった1月も終わり、2月3日(日)はもう節分です。「節分」は本来季節の移り変わるときの意味で立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を指すものになりました。翌日の立春からは暦の上ではもう春を迎えることになります。

さて、子ども達が何かを決意する日、または「やり直し」を誓う日が教育・心理カウンセラーの富田富士也氏によると1年に5回あると言われています。それは、新年スタートの正月、新学期が始まる4月、夏休み後の9月、冬休み後の1月、そして自分の誕生日です。しかし、少し前まではこの5つに1つ加えて6回だったそうです。

これは少し難しく、2月3日の節分です。節分というのはちょっと意外でしたが「豆をまき、邪を払ってやり直し」ということだそうです。そこで、この「決意する日・やり直しを誓う日」である節分を活用して、子ども達の決意を家族で再度確かめ、家族で1年の目標や決意を話し合い、できていないときは「〇〇〇な鬼、鬼は外！」と言って豆をまき新たな出発ができたらいいのではないのでしょうか。

私は、毎年のように

「やらないといけないことを、つつい後回しにしようとする鬼！」

「してはいけないことだと分かっているけど、誰も見ていないからとささやく鬼！」

「自分さえ良ければ大丈夫、というわがまま鬼！」

と戦っています。このような鬼を退治するのは大変で、何度も同じ失敗を繰り返し、そのたびに決意を新たにします。しかし、自分はいつも失敗や過ちを繰り返すからと、決意や決心をやめてしまったら成るものも成らなくなってしまいます。子ども達の場合も同じではないのでしょうか。子ども達が何度失敗しても懲りることなく、親や家族、そして教師が励ましていく、その繰り返しでうまくいくときが必ずあります。要は諦めないで繰り返し続けていくことが大切なことなのです。

2月3日の節分には、私自身も家族と一緒に豆をまき鬼退治をしようと思います。娘たちに、「お父さんそんな大きな声を出さないで」とか「豆を外に投げたら近所に迷惑」等と言われ続けていますが、毎年がんばっています。愛犬颯太(ふうた)は大喜びでまいた豆を食べるために走り回ります。今年も自分をしっかりと見つめ直していきたいと思っています。ご家庭でも節分の日を上手に使ってみたいかがでしょうか。

雨がなかなか降らず空気の乾燥が続いています。うがいや手洗い空気の入れ換えなどに注意して、学校も家庭でも健康管理をしっかりとしていかなければと思います。

今月も変わらぬご理解・ご支援ください。よろしく申し上げます。

